

令和5年1月14日(土)

札幌市生活科・総合的な学習教育連盟主催研修会
「侃侃諤諤」

From青森～北日本の生活・総合



六ヶ所村教育委員会
学務課指導グループ

グループマネージャー 木村 智

令和5年1月14日(土)

札幌市生活科・総合的な学習教育連盟主催研修会
「侃侃諤諤」

From青森～北日本の生活・総合

— 生活・総合での学びを通して、
将来どんな大人になってほしいの? —



六ヶ所村教育委員会
学務課指導グループ

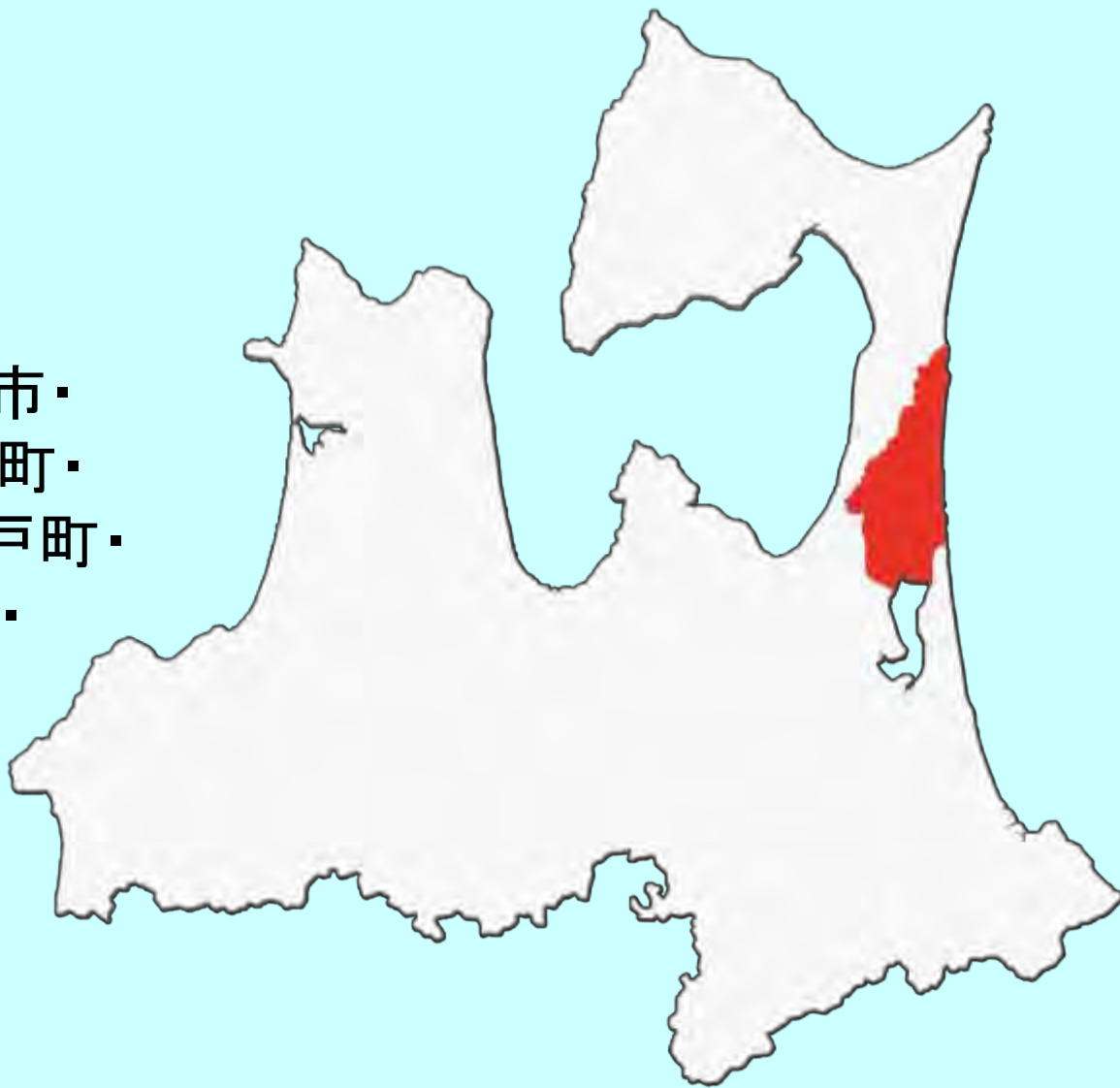
グループマネージャー 木村 智

青森県

上北地方：9市町村

(十和田市・三沢市・
野辺地町・七戸町・
おいらせ町・六戸町・
横浜町・東北町・
六ヶ所村)

六ヶ所村



青森県六ヶ所村



明治の町村制施行で、
「泊」「出戸」「尾駁」「鷹架」
「平沼」「倉内」の6つの村が
集まってできた村

人口 9、929人（令和4年12月1日現在）

小学校 4校
（泊小学校、尾駁小学校、南小学校、千歳平小学校）

中学校 3校
（泊中学校、第一中学校、第二中学校）

青森県立六ヶ所高等学校



本日本話しすること

- 1 子供の姿を想定した生活科の見取りと価値付け
- 2 安心してドキドキする総合的な学習の時間

1 子供の姿を想定した生活科の見取りと価値付け

(1) 2年生活科「町探検」三沢市立三沢小学校の実践

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

「知識・技能」が**習得**され、
「思考力・判断力・表現力等」が十分に**育成**されたとき、
「学びに向かう力」が自然に身に付いてくる（**涵養**）。

※涵養・・・自然にしみこむように養成

生活科において
学びに向かう力をどのように評価するのか。

- ・ 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成の過程で、「ねばり強さ」や「学習の調整」を発揮しているか評価。
- ・ 単元始めと単元後の変容から「実感と自信」を評価。

2 学年 町探検の単元

一枚ポートフォリオ活用

	アイデア	書き	がんばる
			
よくできた◎	できた○	もうすこし△	
【おもったこと】			

名前 []

はじめ 月 日 []

あなたは、じぶんの町の どんなところが好きですか。

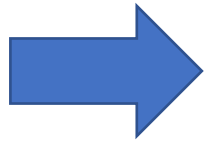
おわり 月 日 []

あなたは、じぶんの町の どんなところが好きですか。

「町たんけん2」のがくしょうをして 思ったことを書きましよう

一枚ポートフォリオの活用

学びに向かう力を中心とした評価（教師と子供の実感のため）



一枚ポートフォリオを活用して実践

<実践の流れ>

- ①評価規準の設定 → ねばり強さ・学習の調整場面
- ②一枚ポートフォリオの活用
- ③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援

①評価規準の設定 → ねばり強さ・学習の調整場面

単元の目標設定



単元の評価規準設定



小単元の評価規準設定



気付きの質の高まりの
想定

→ねばり強さ・
学習の調整場面

①評価規準の設定 → ねばり強さ・学習の調整場面

単元の目標設定

地域の様々な場所を繰り返し探検したり地域の人と関わったりする活動を通して、**地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、適切な接し方を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとすることができるようにする。**

①評価規準の設定 → ねばり強さ・学習の調整場面

単元の目標設定



単元の評価規準設定



小単元の評価規準設定

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		地域の様々な場所を繰り返し探検したり地域の人と関わったりする活動を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かっている。	地域の様々な人と関わったり伝え合ったりする活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを考えている。	地域の様々な場所を繰り返し探検したり地域の人と関わったりする活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。
小単元における評価規準	1 町たんけんたい けっせい	①自分の身の回りには、様々な場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など多様な人々が生活していることが分かっている。	①地域の場所におけるふさわしい行動を予想しながら、活動の計画を立てたり、約束を決めたりしている。 ②行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。	①地域の人々や場所に関心や期待をもち、関わりたい人や場所を見つけ、繰り返し関わろうとしている。
	2 町たんけんたい しゅっぱつ	②地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。 ③様々な人々と関わったりする際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、訪問や連絡、依頼を適切に行ったりしている。	③地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。 ④地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、捉えている。	②地域の場所や人々に応じて、適切に接したり安全に生活したりしようとする。 ③身近な人々と関わることのよさや楽しさを実感し、多様な人々との関りを自ら築いていこうとしている。
	3 とおくのおき おしえるよ	④自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさが分かっている。 ⑤地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を楽しくしたりしていることに気付いている。	⑤誰に伝えるかを思い描きながら、伝えたいことや伝え方を選んでいく。 ⑥好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返りながら、友だちに知らせている。	④自分たちの生活や地域の出来事を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。 ⑤地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとしている。

①評価規準の設定 →ねばり強さ・学習の調整場面

単元の目標設定



単元の評価規準設定




小単元の評価規準設定



気付きの質の高まりの
想定

→ねばり強さ・
学習の調整場面

	予想される気付き
A 最初の気付き	<ul style="list-style-type: none">・私たちの町には〇〇や△△のようなすてきな場所があるよ。・学校のまわりには、大きな建物がいっぱいあるよ。・〇〇（場所）には人がいっぱいいたよ。何をしているのかな。・いろいろな施設や働いている人を見つけたよ。・〇〇のことを発表して友達に教えてあげたいな。・もう少し、町の施設や働いている人をくわしく調べたいな。 <div data-bbox="2058 496 2466 735"><p>学年で話し合っ て、子供の具 体的な姿を想定</p></div> 

①評価規準の設定 →ねばり強さ・学習の調整場面

単元の目標設定



単元の評価規準設定



小単元の評価規準設定



気付きの質の高まりの
想定→見取りへ

具体的な評価規準を設定し、気付きの質の高まりを予想する。子供の姿（気付きの質の高まり）を想定することで、ねばり強さや学習の調整が必要な場面が見えてくる。

予想される気付き	
A 最初の気付き	・私たちの町には〇〇や△△のようなすてきな場所があるよ。 ・学校のまわりには、大きな建物がいっぱいあるよ。
	B 自覚された気付き・対象への気付き
C 関連された気付き・自分自身への気付き	○附田和哉研究所の人は一生懸命着物を作っていたよ。 ○給食センターは、衛生面も考えて、安全に料理しているね。 ○大津郵便局では、ぼくたちがポストに入れた郵便物の差出人を確かめています。だれ ○みんなの発表を聞いたら、町には色々な働く人がいることが分かったよ。 ○仕事や活動をする人がいるから、ぼくたちは楽しく生活できるんだな。 ○いろいろ教えてくれた町の人はやさしいな。 ○これから、〇〇で会ったときには、挨拶できるよ。 ○はたらく人は、こんなことを思っているんだね。 ○町にはいろいろな仕事をする人がいるから、私たちは楽しく生活できるんだ。 の町ってすてきだな。 ○大好きな町のために、自分はどんなことができるかな。 ○町の人に会ったらあいさつしたいな。 ○約束やルールを守って探検できてうれしいな。 ○お店の人と話をするのは緊張したけど、がんばって話せてよかった。 ○探検するとき、大きな声であいさつできてよかった。 ○リーダーや係をがんばってよかった。 ○気付いたことをたくさんカードに書けたよ。 ○グループでたくさんお話できるようになったよ。 ○発表会で大きな声で発表できたよ。

②一枚ポートフォリオ

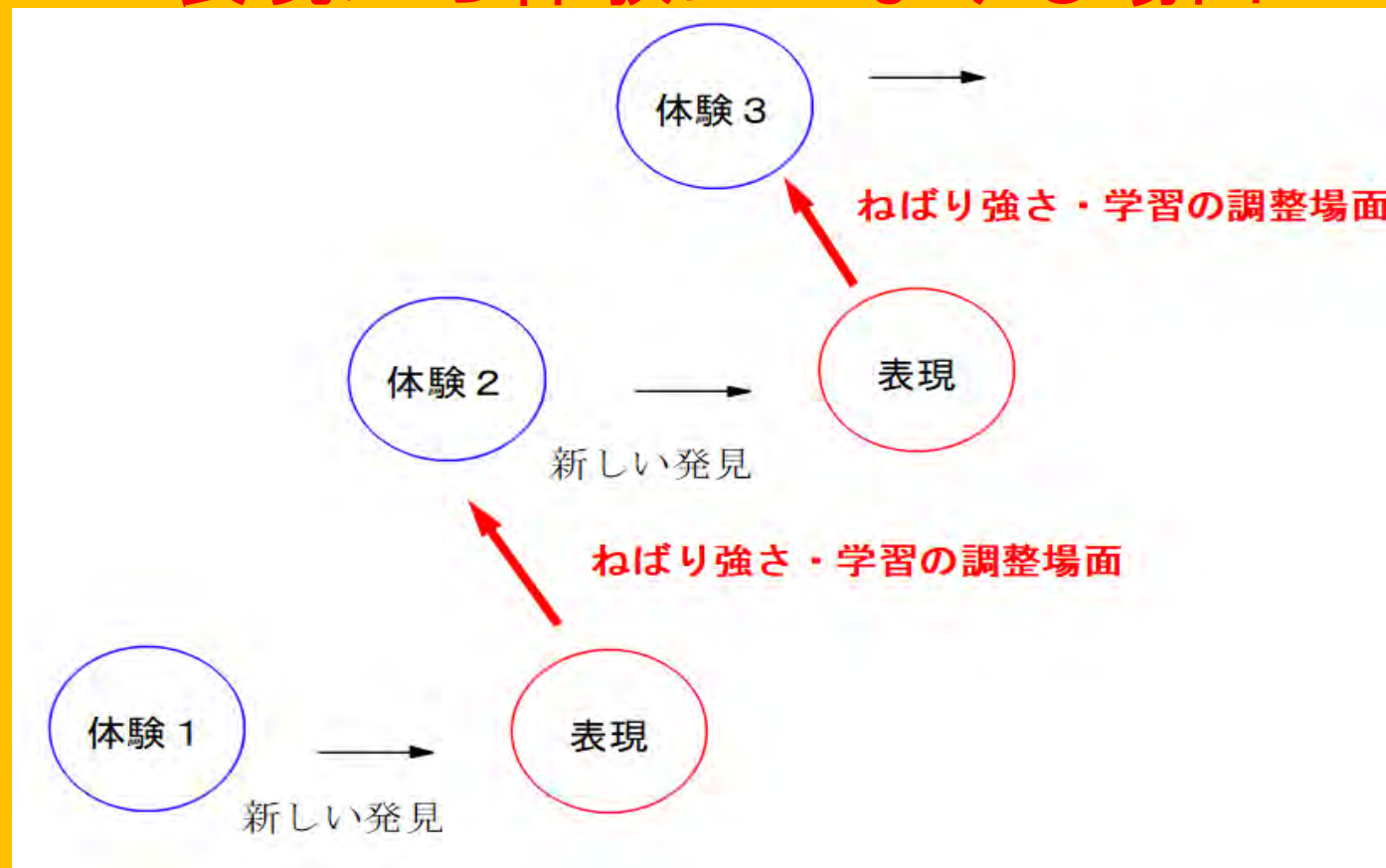
単元指導計画

次	時	
一 町たんけんたい けっせい	1	○1回目町たん がら、1回目 ・給食センター 見てみたいな ・国際交流教育 ○1回目町たん がら、もっと <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">町の（施 りたいな。</div>
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2回目町たん んびしたらい</div> ○質問内容や興 する。 ○探検の日程や ○質問内容を決 ○探検のお願い ○タ

二 町たんけんたい しゅっぱつ

3
・
4
・
5

表現から体験につなげる場面



一枚ポートフォリオの記載場面を事前に決めておく。
→ねばり強さ・学習の調整の見取り・価値付け

②一枚ポートフォリオの活用 単元の始め

単元の途中

			
よくできた◎	できた○	もうすこし△	
【おもったこと】			

単元の終わり

名前 []

はじめ 月 日 []

あなたは、じぶんの町の どんなところが好きですか。

おわり 月 日 []

あなたは、じぶんの町の どんなところが好きですか。

「町たんけん2」のがくしょうをして 思ったことを書きましよう

②一枚ポートフォリオの活用

はじめ

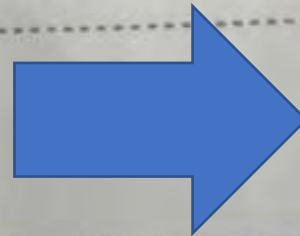
単元始め：浅い考え

あなたは、じぶんの町の どんなところが好きですか。

大津ゆうびんきょく。

てがみやはがきをポストにいただけで、おく







る人におくれるから。



気付きの質の高まり
→ねばり強さ・
学習の調整場面

③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援

単元途中：考えの深まりを価値付けるコメント

（どんな思いをも、て）おしごとをしているのだろうか。			がんばった 
よくできた◎ できた○ もうすこし△			
【おもったこと】			
どこのチームも、思っていることは、ちがうけどみんな			
のことを、思っ、てしごとをしているのがわかりました。			
みんなのことも、思っ、てしごとをしているのは、学校の先生と同じことを思っ、てはたらくしているんだと思っ、て			

低学年はメタ認知が難しい。

→教師がコメントで価値付け、メタ認知のアシストをする。

→教師のアシストでねばり強さや学習の調整を発揮

③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援

グループの友達との話合いや他グループの資料をもとに次の活動を修正 . . . 学習の調整



③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援

ねばり強さが発揮された場面

電話での取材依頼



電話の仕方を繰り返し練習

オンラインインタビュー



コロナ禍でのインタビュー形態
変更→リハーサル繰り返し後
インタビューへ

③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援

一枚ポートフォリオを読み返して活動を軌道修正し、
次の体験活動へ

・ ・ ・ねばり強さ



単元中盤・後半
活動の繰り返しをグループ内で評価



単元後半
自分のねばり強さを実感

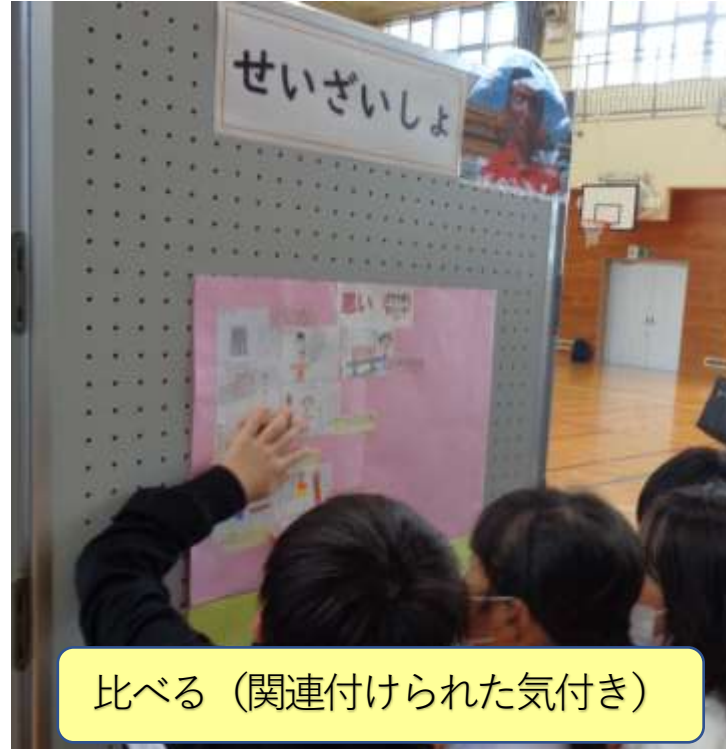
③ねばり強さ、学習の調整の発揮の支援



町探検（対象への気付き）



町探検による発見↓記録



比べる（関連付けられた気付き）

他のグループの活動と比べ、次の活動を軌道修正



成長を実感（自分自身への気付き）

活動を映像で確認し、自信を深める

一枚ポートフォリオに書き込ませることで、試行錯誤し、時に友達と話し合っって軌道修正しながら、体験と表現を繰り返し、気づきの質を高め、自信を深めていった。

知識及び技能の基礎の習得及び思考力・判断力・表現力等の基礎の育成 と学びに向かう力の関係

思いや願いをふくらませ
気づきの質を高めていく



ねばり強さと
学習の調整を
発揮できる
よう支援

自分自身の気づきを実感



自信へ



気づきの質の高まり

学 習 の 調 整

ね ば り 強 さ

知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎の育成 → 学びに向かう力の育成

(2) 2年生活科「うごくおもちゃ」 おいらせ町立百石小学校の実践



気付きの質を高める・・・学習指導要領(解説)から

内容(6)自然や物を使った遊び

(6)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

学習対象・学習活動等	思考力、判断力、表現力等の基礎	知識及び技能の基礎	学びに向かう力、人間性等
(イ)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動とは	(ロ)遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができるとは	(ハ)遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとは	(ニ)みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとするとは
<p>【学習対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然、身近にある物 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用する ○特徴を生かして遊ぶ ○遊びを工夫する ○遊びに使うものを選ぶ ○遊びに使うものを作る 	<p>【遊び自体を工夫する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の遊びを真似したりルールを改善したりしながら遊びを発展させる。 <p>【遊びに使うものを工夫して考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達のおもちゃと比べて、予想したり予測したりして考える。材料の使い方を試したり工夫したりして繰り返し遊ぶ。 	<p>【遊びの面白さに気付く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊び自体の面白さに気付く ○遊びを工夫することの面白さに気付く ○遊びを創り出す面白さに気付く ○友達と一緒に遊ぶことの面白さに気付く <p>【自然の不思議さに気付く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○予想と事実の違いに気付く ○自然の中にあるきまりに気付く ○自然現象の不思議さに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と友達などとのつながりを大切にしながら、遊びを創り出し、毎日の生活を豊かにしていく ○約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことなどにも気付いていく ○友達のよさや自分との違いを考えたり、相手の意見を尊重したりする態度も身に付く ○遊びそれ自体が互いの関係を豊かにし、毎日の生活を充実したものにしていく <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな生活の実現に向かう遊びを創り出していく姿が期待されている

気付きの質の高まり

自分自身の成長
や実容に気付く

学習対象・学習活動等	知識及び技能の基礎
(イ) 身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりするなどして遊ぶ活動とは	(ハ) 遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとは

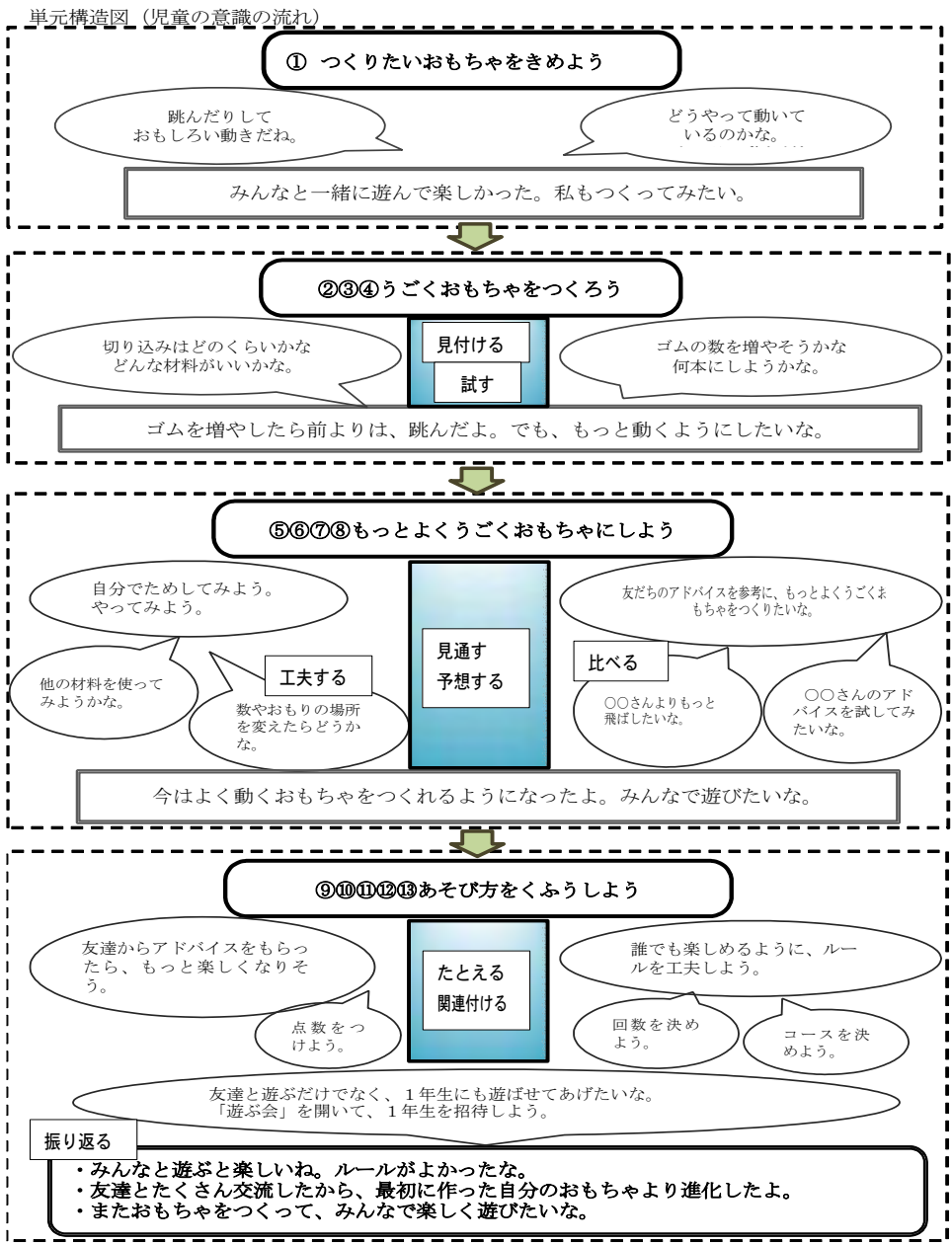


<p>【学習対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然、身近にある物 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用する ○ 特徴を生かして遊ぶ ○ 遊びを工夫する ○ 遊びに使うものを選ぶ ○ 遊びに使うものを作る 	<p>【遊びの面白さに気付く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遊び自体の面白さに気付く ○ 遊びを工夫することの面白さに気付く ○ 遊びを創り出す面白さに気付く ○ 友達と一緒に遊ぶことの面白さに気付く <p>【自然の不思議さに気付く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予想と事実の違いに気付く ○ 自然の中にあるきまりに気付く ○ 自然現象の不思議さに気付く <p>気付きの質の高まり</p> <p>自分自身の成長や実容に気付く</p>
---	---

学習活動と
単元を通しての
気付きの質の高まり

単元計画（単元構造図）からみた教師の見取り

「うごく うごく わたしのおもちゃ」の単元計画



① つくりたいおもちゃをきめよう

跳
おもしろ

切り込みは
どんな材料

ゴム

自分でためし
やってみよう

他の材料を使って
みようかな。

今は

自分でためしてみよう
やってみよう。

他の材料を使って
みようかな。

工夫する

数やおもりの場所
を変えたらどうか
な。

見通す
予想する

比べる

〇〇さんよりもっと
飛ばしたいな。

〇〇さんのアド
バイスを試してみ
たいな。

「考える」を単元計画に位置付け
見付ける・比べる・たどる
試す・見通す・工夫する

今はよく動くおもちゃをつくれよう

⑨⑩⑪⑫あそび方をくふうしよう

友達からアドバイスをもらっ
たら、もっと楽しくなりそ
う。

点数をつ
けよう。

たどる
関連付ける

誰でも楽しめるように、ルー
ルを工夫しよう。

回数を決め
よう。

コースを決
めよう。

友達と遊ぶだけでなく、1年生にも遊ばせてあげたいな。
「遊ぶ会」を開いて、1年生を招待しよう。

振り返る

- ・みんなと遊ぶと楽しいね。ルールがよかったな。
- ・友達とたくさん交流したから、最初に作った自分のおもちゃより進化したよ。
- ・またおもちゃをつくって、みんなで楽しく遊びたいな。

予想される「子供のつぶやき」
→見取り
→価値付け
→気付きの質の高まりへ

2 安心してドキドキする総合的な学習の時間

安心してドキドキする指導

教師がそわそわしながら学習を進める→×

ゴール意識・プロセス意識をもつ＝安心

（高学年は一緒に共有する）

子供が**教師の想定を超えたとき**を楽しむ＝ドキドキ

総合的な学習の時間を積み重ねていけば、教師の想定を超える子供が必ず出てくる。この瞬間が総合の醍醐味。

ゴール意識・プロセス意識をもつために

1 目指す子供の姿



2 単元の目標



3 評価規準（子供の具体的な姿を想定して）



4 指導へ

※ 2 と 3 がしっかりしていれば、安心。

(1) 6年総合的な学習の時間の実践

六戸町立大曲小学校

「まちの魅力再発見」

令和元年度実践

丸井大輔先生

※今年度から上北教育事務所指導主事

1. 目次

	項 目	内 容
1	「地域に教材が見当たらない!？」	自分事の地域教材を探して 子供が解決したくなる課題にしたい
2	「ちゃんと話し合わせたい」	「思考ツール」(考えの見える化)で 子供の話し合い活動に化学変化(簡潔 化・明確化・統合化など)を起こしたい
3	「困らせたい」	連続的な課題との出会いで、 現実的な解決方法を考え続けさせたい
4	「実感させたい」	形にできる(実感しやすい)明確なゴールで「やって良かった」「想像以上だった」という達成感を引き出したい
5	学 習 後 の 様 子	
6	考 察	

2. 「地域に教材が見当たらない!？」

これまで扱ったことのある地域教材



自然・産業・文化など
特色が明確→豊富な探究素材

「剣舞」「鶏舞」「米作り」「灌漑工事」「長芋作り」「酪農」「B-1グランプリ」など、わかりやすい教材に恵まれてきました。

勤務校ごとの地域教材

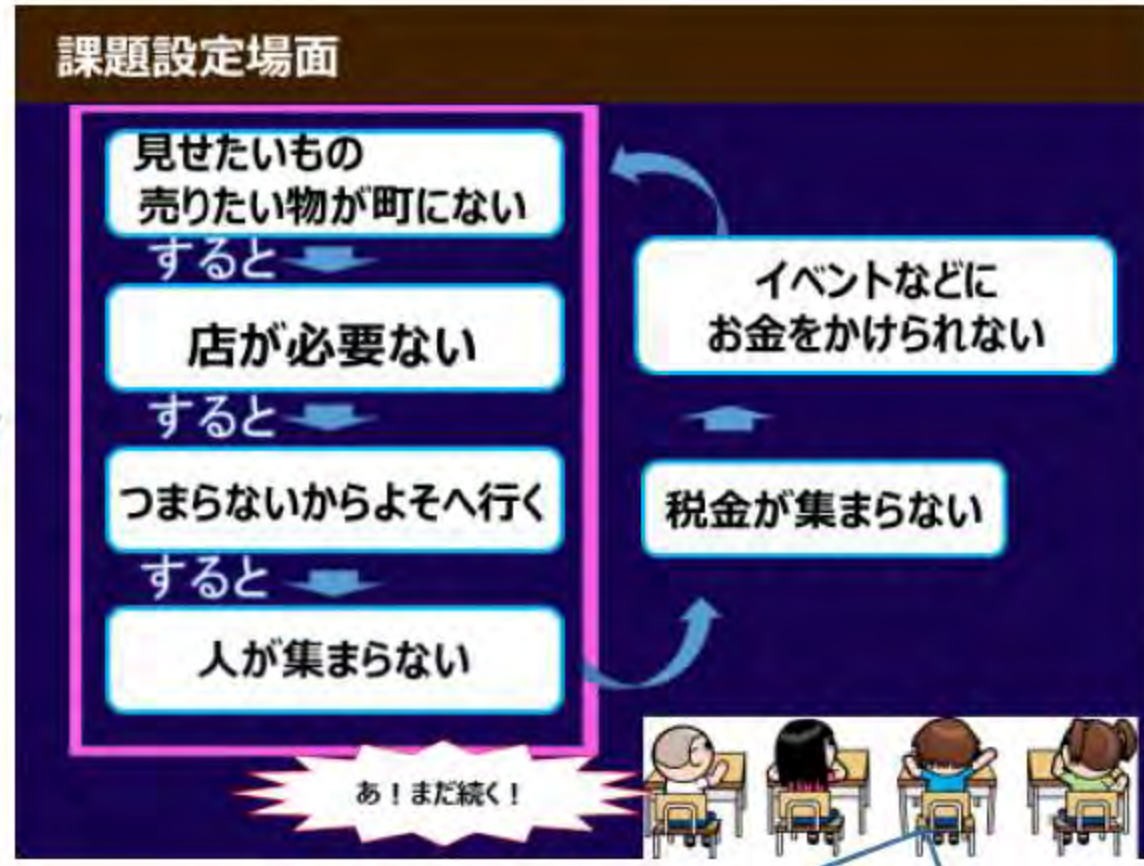
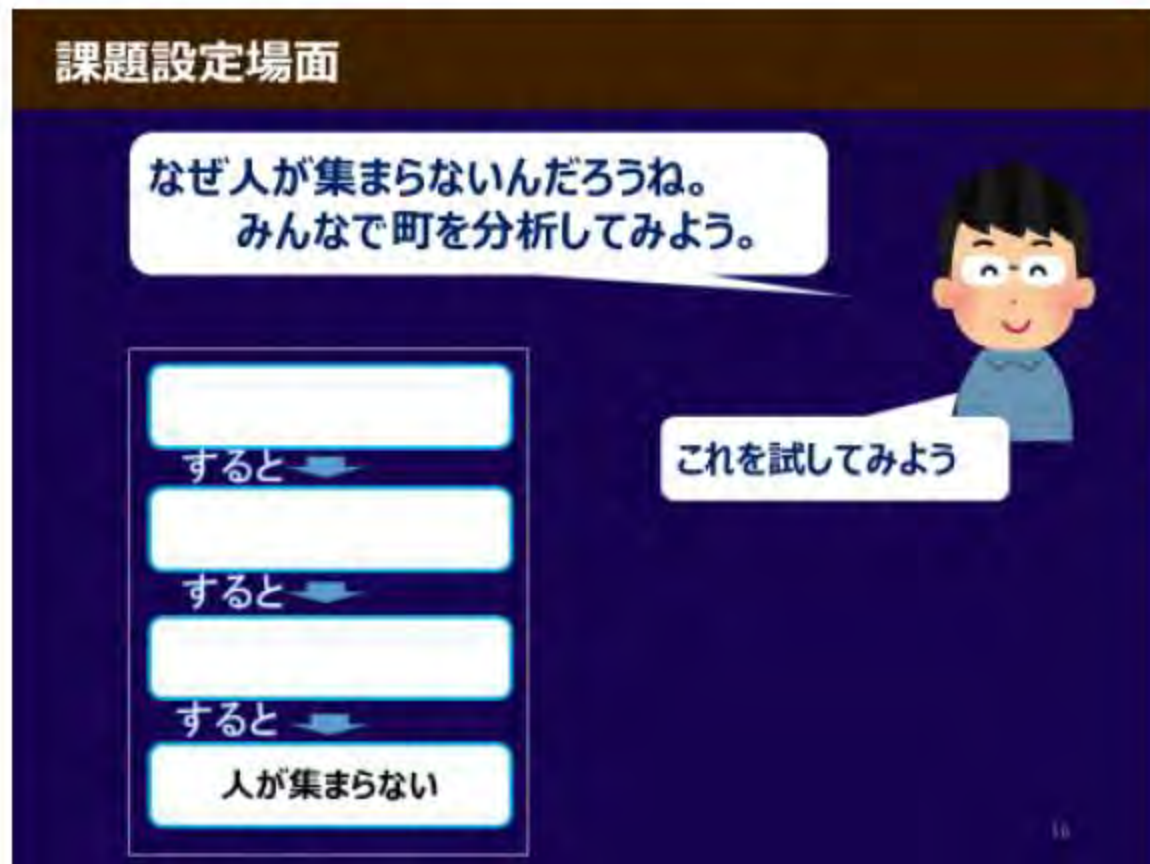


特色があいまい＝探究が難しい...
そうではない!



魅力的で子供たちにもよく知られている自然や文化、産業がある地域とそうでない地域が…。

3. 「ちゃんと話し合わせたい」



協議が成立

課題設定場面「分類シート」



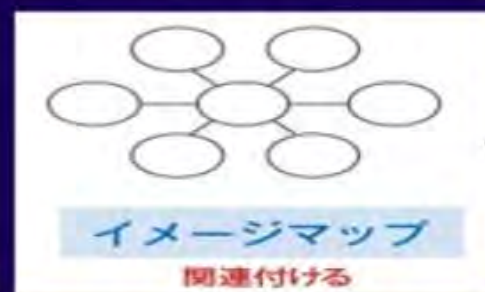
いつも思考ツールが活動の味方に

ゴールに向かって必要な活動内容を「イメージマップ」や「なぜなにシート」などを出し合いながら、順序を整理していく。
☆あくまでも、主体が子供であるように。
(与えられた課題や解決方法は自分のものにならない)
☆計画作りも連続的な課題解決場面のひとつととらえる

課題設定場面「子供が単元計画をつくる」



でも…何をどうPRすればいいのかな…？



仮説を立てる

・建物、風景
・歴史・公園
・食べ物・政策
かな？

地域にめばしい学習課題にできそうな教材が見当たらなかったの以下のように進めました

①子供と地域の課題を話合う ②課題に挑んでいる大人から学ぶ ③自分たちにしかできないことが課題となり、教材の選定が進められた。

4. 「困らせたい」その1

単元の実際 「PRすべき内容で困らせる」

何をPRするのが効果的なのでしょう？



有名な観光地で聞けばいいかも！（おもしろそう）



修学旅行で聞いてみますか？

①「何をPRすればいいのか」悩み

単元の実際 「仮説を検証・情報収集」

人は「どんなところに魅力を感じるか」

(函館市・洞爺湖 観光客アンケート167人)

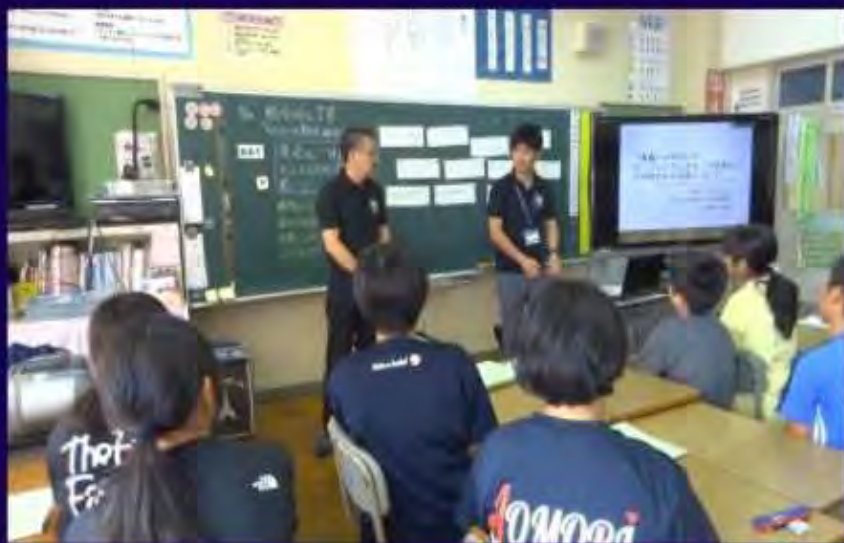
	自然	食	風景	建築	歴史	文化
日本人	18	78	11	15	29	1
外国人	21	56	8	17	7	6



食をメインにPRすれば間違いない！

② 子供の「調べたい」に変化して修学旅行で取材したり

偶発的に、でも必然的に教材と出会う場面
「大人は何をPRしているのですか？」



③ PR 活動している大人に尋ねたりしながら



→「僕たちに#6のPR動画
を作らせてください！」

④ 「～したい」という意思を固めていく

「困らせたい」その2

学ぶための困り感(必要感)

ユーチューバーのマネをして撮影
→動画をつなげて作ったが...
Kさん「却下！映像からよさが伝わらない
もう一度編集し直して」×2
(打合せ通り)

※どれくらい、ものにならなかったか
という...

① 撮影して、動画をつなげてみたけれどうまくいかない

プロに学ぶ
「自然」の撮り方
山本五十六式
～教えて・やって・やらせて～



② 目的を明確に、課題を克服していく

3

1. 子どもの「～したい」と
教師の「～させたい」をつなげる。
2. 子どもが「～せずにはいられない」状況をつくる。

5. 「実感させたい」

実際に「触れて」「食べて」
実感のあるリアルな情報を獲得



取材対象とのリアルな関わりの場を保証する

P R動画が活用されている場所

- ・町役場や観光協会
- ・「# 6 取り扱い店」の都内
料亭 レストラン ホテル
- ・東京ドーム物産展



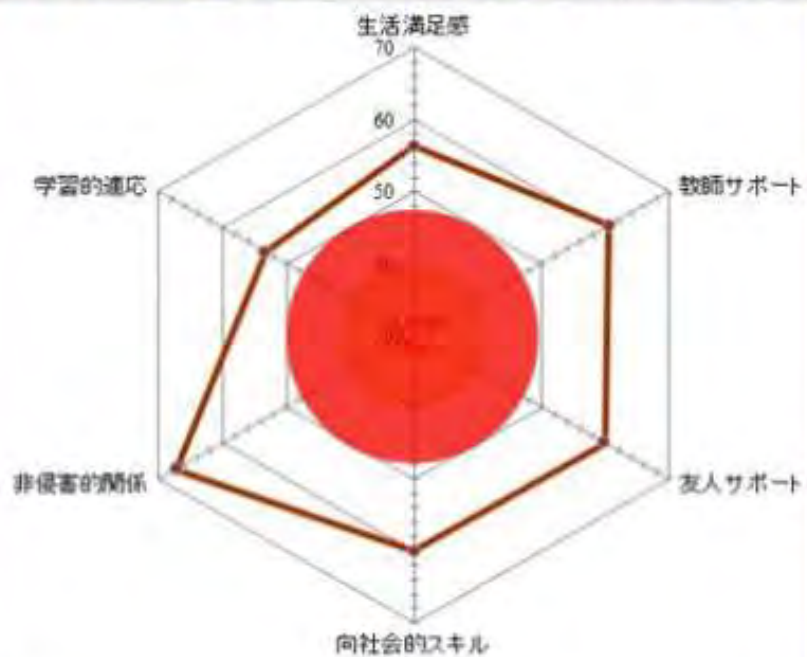
本当に使って
もらえて
想像以上！



成果物がどう使われているのかを知る

6. 学習後の様子

アセスで見るクラスの変化(12月)



各教科恒例になった子供による発展授業



深く知るための手立てや達成感を総合で味わった子供たち。各教科ごとにチームを作って、各単元の発展内容を土日で調べ、翌週に授業をするようになった。

7. 成 果 と 課 題

- ◎ 総合での活動を目的に各教科の学習において必要感をもって学ぶことができた。

→総合の単元にかかる時数をムダに多くしなくても済む

合科的に扱った教科	学 習 内 容	時間数
国 語	「目的に応じたインタビューの仕方」	6
	「見学メモのまとめ方」	2
	「依頼文の書き方」	2
	「提案文の書き方」	5
社 会	「地方自治・行政の役割」	1 1
算 数	「統計の見方・とり方・表し方」	1 0
	「標本調査の仕方」	

～ゴールまでの道のりを描く～

ア 子供が、主体的に考え、実行し、検討・改善し解決できる道のりを設定する
(子供がPDCAサイクルやPPDACCサイクルを歩めるように)

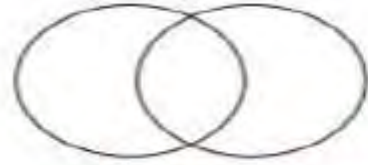
イ 場面ごとに必要となる考え方(思考スキル)や知識・技能を補うための教科での学習

- ◎ 日常でも思考ツールを生かし、考えを整理したり表現したりする姿が見られるようになった。
- ◎ 何よりも、「先生、道の駅で新しい品種のトマトを売り出していました。」や「町内の観光協会の人に頼んでPRイベントに参加できることになりました。」といった、地元への関心や愛着を示すようになった。
- △ 集団に関する活動の見取りが精一杯で、個々の活動時の評価ができなかった。(ワークシートで評価するのみに留まってしまった)
- △ 大枠は構想通りであったが、児童主体であったために事前に細かい計画を立てることが難しかった。
- △ 次年度の6学年のことを考えた継続性のある内容にはできなかった。



8. その他 (活用した思考ツール例やワークシート例)

一人一人が参画意識, 目的意識, 協働意識などを持つことができた思考ツール



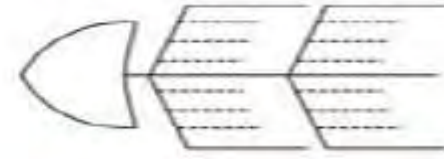
ベン図

比較する



くま手図

多面的に見る



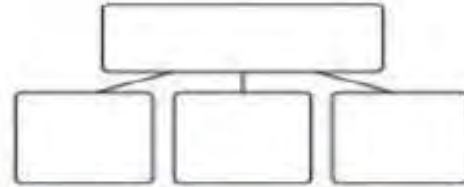
ボーン図

構造化する



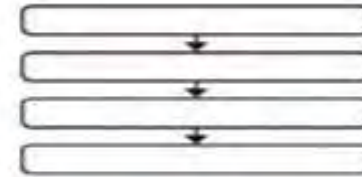
XYチャート

分類する



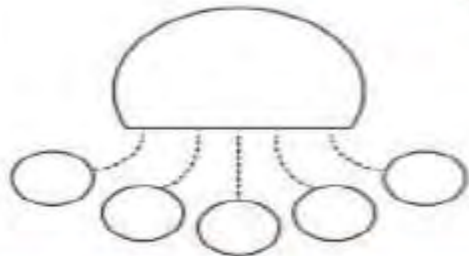
なぜなにシート

構造化する



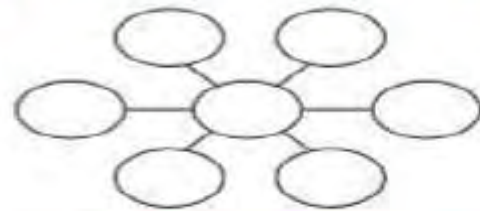
ステップチャート

順序立てる



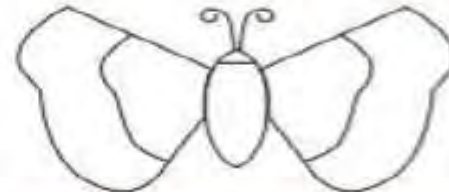
クラゲチャート

理由付けする



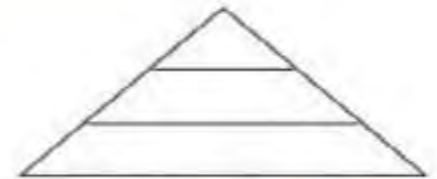
イメージマップ

関連付ける



バタフライチャート

理由付けする



ピラミッドチャート

構造化する

ワークシート類の形式

映像クリエイター

「石川和也さん出前授業」を受けて

氏名

めあて 動画編集の基礎やコツを学んでCM動画のクオリティを上げよう

1. 石川さんの授業をメモしよう

2. 「教えて」石川さん

質問・疑問	解答

3. 動画の構成計画

タイム	撮影場所	主な内容
0'00～1'00		
1'00～2'00		
2'00～3'00		
3'00～4'00		
4'00～5'00		

4. 自己評価

①あいさつや受け答えを丁寧にできた。 A B C D

②理解することができた。 A B C D ③計画作りに貢献に加した。 A B C D

大曲小学校6学年 総合的な学習「大戸町魅力再発見」 No. 2

氏名

1. めあて

大戸町で魅力的な食を届けるにはどうすればよいのだろうか？

2. 大戸の町の食と言えば！

①



②

3. 検索してみよう Web 上にある情報 (HP や口コミ) メモ

①私は について調べました。

②検索ワードは「 」でした。

③その結果は、

他にも でした。
すれば、見つかるかもしれません。



大曲小学校6学年 総合的な学習「大戸町魅力再発見」

氏名

1. めあて

図書館の魅力を分析すると、大戸町の魅力になるものは何になるのだろうか。

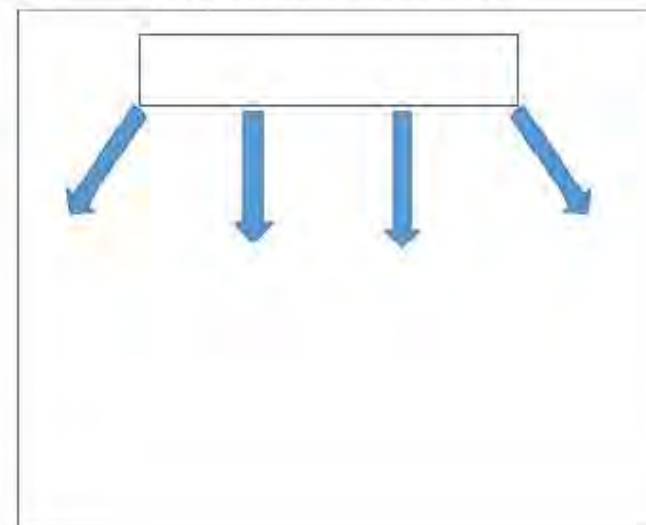
2. 図書館の町の魅力は

ジャンル

代表例

3. 大戸で

と言えば！？ (思いついたものを挙げる)



（２） ちょっと・・・かなり古い自分（木村）の実践

2011年

東日本大震災が
あった年

児童一人一人の気付きの質を高め、
ふるさとへの愛着を深めるための実践事例
－倉内神楽継承を題材とした単元－



青森県六ヶ所村立倉内小学校
教諭 木村 智

当時44歳

今は55歳
11ヶ月

倉内神楽

今から300年ほど前に誕生したとされる獅子神楽（山伏神楽）。

現在の舞は、80～90年ほど前に、八戸から伝わったとされる。

保存会のメンバーは15名程度。
受け継ぐ人が少なく、高齢化が進んでいる。

平成20年度当初
子ども神楽は、「下舞」のみが舞われていた。
楽器演奏は、保存会が演奏。
小学校は数年後には統合・・・

何とかして伝統を守りたい・・・



単元設定の理由

①倉内神楽の伝統を受け継ぐ心を育てる



伝承文化を大切にし、
保存していく子に

②個々の子どもに問題意識をもたせる



総合的な学習の
学び方を身に付ける

目指す子ども像

- 自分たちの地域の伝統芸能を愛し、受け継ごうという心情を育てる。
- 伝統を継承していく技能を身に付ける。
- 主体的に問題解決できる。

「探究」がメイン！
技の習得は副次的なもの

指導の段階

①課題設定の段階

課題設定の能力

②課題追究の段階

実証・実行力

知識を
活用する能力

③表現の段階

多様な表現力

プレゼンテーション
能力

④生かす段階

他とかかわる力

実生活に
生かそうとする力

すべての段階

関心・意欲・態度

情報収集能力

情報処理能力

気付きの質を高める手立て

①課題設定の段階

手立て1

ゴールを描かせる課題

②課題追究の段階

手立て2

協同的な学び（情報交換）

③表現の段階

手立て2

協同的な学び（情報交換）

④生かす段階

手立て3

振り返り



＜実践事例＞

平成20年度（3年生の時）



手立て 1

○課題設定に力を入れた指導

観点の提示・・・課題の見直し

- ①気持ちがわくわくするか。
- ②友だちや先生に説明できるか。
- ③周囲のアドバイスを聞いたか。
- ④自分の力でがんばれそうか。
- ⑤長時間かけても飽きないか。
- ⑥体を動かしたり作ったりする活動か。
- ⑦いろいろな調べ方ができるか。
- ⑧見通しをもてるか（資料・調べ方）。
- ⑨発表したくなるものか。
- ⑩まとめ方や発表方法が思い浮かべられるか。

平成21年度（4年生の時）



手立て2

○協同的な学び

情報交換の設定

・・・次のステップへ

- ①もっと広げたいな。
- ②自分ではなかなか上手くいかなかった。
（力を貸してほしい・確認したい）
- ③学びの成果を見てもらいたい（教えたい）。

○太鼓練習＜ 3 ・ 4 年＞



放課後、保存会の太鼓も借りて練習。



手平鉦の練習も行う。



笛や手平鉦の子どもたちも混じって、囃子の練習をスタートした。

<平成21年度の6年生>

○ホームページ作製



分担を決めて、写真の選択、文章、レイアウトなどを考えて、作製した。



倉内神楽、新山権現神楽、泊神楽、倉内地区、倉内小学校の内容を網羅している。

・表現（情報発信）



<平成21年度の6年生>

○卒業制作・卒業記念品<6年>



神楽カレンダーを制作した。倉内神楽保存会の方にも、神楽カレンダーを贈呈した。



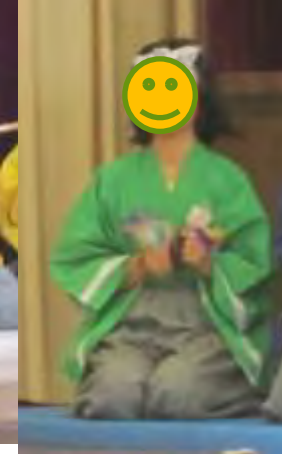
たっす。導であうま
し作レで、指くてとい
たがカーまで、つがざ
わちたダ今舞しさりご
した。



大事に使わせてもらいます。幟も立派なものでできてよかったですね。

卒業記念品として、「倉内子ども神楽」の幟を6年生が贈呈した。芸能発表会等で、他の子ども神楽のように幟がほしいと望んでいた声に応えてくれたものである。

平成22年度（5年生の時）



○倉内子ども神楽 権現舞完全復活



6年生とともに、何度も練習を重ね、子ども神楽で権現舞を復活させることができた。



楽器も、子供たちだけで演奏できるようになった。

○倉内神楽の祖先（中興の祖）さがし



昔の資料を読んだり、倉内神楽と矢沢神楽の権現舞を互いに見せ合ったりするなどの活動を通して、矢沢神楽が中興の祖であることを突き止めた。
取材活動を通して、矢沢神楽の歌詞を手に入れることができた。
倉内神楽には、火事等で歌詞が残っていない・・・。

手立て3

○振り返り

振り返りの充実

・・・自分の生き方の再考

①個人（振り返りカードに記入）

②個人→全体へ
（話し合い活動）

＜平成22年度の6年生＞



村民俗芸能発表会で、子ども神楽として権現舞を舞った。



「地域の一員として活動したい。」という思いから、春の例大祭で、保存会の方と一緒に神楽を奉納した。

そして 平成23年度（6年生）



後輩に舞を伝授したい。
（昨年度の振り返り→今年度の課題）



「倉内神楽」単元のテーマの変容

年 度	学 年	共通テーマ	内 容	備 考
20年度	3年	六ヶ所村内の 神楽を調べよう	①神楽とは ②村内の神楽 (種類・楽器)	下舞を保存会の方から習う
21年度	4年	倉内神楽を 調べよう	①舞(下舞・権現舞) ②楽器について	3年生に下舞を 教える 楽器を練習する
22年度	5年	倉内神楽を 復活させよう	①権現舞復活 ②楽器演奏 ③祖先さがし	権現舞や楽器を 覚える
23年度	6年	倉内神楽を 受け継ごう	①舞の向上・後輩への 伝授 ②歌詞の掘り起こし	権現舞や楽器を 後輩に教える 保存会に参加

気付きの質を高める手立てに 対する指導の重点化

年 度	学 年	ゴールを描かせる 課題設定	協同的な学び (情報交換)	振り返り
20年度	3年	教師が全面支援	教師が中に入っ て。	最後に感想で 振り返り
21年度	4年	教師が半分支援	教師が側面から。	振り返りカー ドを教師の支 援で記入
22年度	5年	自分＋6年のアド バイス	6年生と。	2度実施 個→全体へ
23年度	6年	自分	自分たちで。 振り返りカード を情報交換に活 用。	段階ごとに実 施

成果

「倉内神楽継承」を見据えたストーリー性のある単元設定



「課題設定→課題追究→表現→生かす」というサイクル

気付きの質を高める手立て



児童の探究心が深まった。

神楽を
復活させたい
受け継ぎたい

平成20年度

各段階の中に、課題を見直したりインタビューを
再度したりするサイクルをスパイラルに展開



平成21年度

「課題設定→課題追究→表現→生かす」
という大きなサイクルがスパイラルに展開



平成22年度、そして23年度へ

思いや願いを強くさせる。



他教科・領域で身に付けた力を生かそうという意識が強くなり、
教科の学習でも成果が見られた。

児童一人一人が倉内というふるさとに愛着をもち、地域の方々もそのことを喜び協力するという相乗効果が見られた。


おまけ

2011（平成23）年度




当時小学校 6 年生と 4 年生だったこの子たち

現在は . . .



主事 ●●●●●

- ①農林水産課 畜産・水産 G
- ②畜産に関すること
- ③真面目なところ
- ④映画観賞
- ⑤はっきりした目
- ⑥●●●地区
- ⑦地域や村民の皆さんのために働きます！



主事 ●●●●●

- ①政策推進課 企画 G
- ②統計調査
- ③忍耐力
- ④体を動かすこと
- ⑤笑顔
- ⑥一つ一つの仕事を丁寧に行い、村に貢献できるように頑張ります！
- ⑦●●●地区

六ヶ所村職員として地域への恩返しをする傍ら、
倉内子ども神楽の指導をしている。



第49回

Aomori

全日本教育工学 研究協議会全国大会

青森大会

ICTの活用で 子供たちの可能性を引き出す
令和の日本型学校教育の構築を目指して
～本州最北端 青い森からの新たな風～

会期 2023年10月27日 金・28日 土

会場 三沢市公会堂 他

公開授業校

- ・六ヶ所村立南小学校
- ・六ヶ所村立第二中学校
- ・六ヶ所村立千歳平小学校
- ・青森県立六ヶ所高等学校

主催：日本教育工学協会（JAET） 共催：青森県南教育工学研究会、（一社）日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）
後援（申請予定）：青森県教育委員会、三沢市教育委員会、六ヶ所村教育委員会



お問い合わせ先 第49回全日本教育工学研究協議会全国大会企画委員会 E-mail: 2023_info@jaet.jp

三沢空港から六ヶ所村まで
1時間かからない！

第49回全日本教育工学研究協議会全国大会青森大会

令和5年10月27日(金)・28日(土)

<授業公開校>

六ヶ所村立南小学校

六ヶ所村立千歳平小学校

六ヶ所村立第二中学校

青森県立六ヶ所高等学校



ご清聴ありがとうございました。

